

SRD BMW A1 M3(F80)DCT・M4(F82)DCT 用

この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして誠に有難うございます。
ご使用前に本書を必ずお読みいただき内容を理解した上でご使用ください。

本説明書の内容

A.使用目的・概要

製品の使用目的、概要等が記してあります。取り付け車両の使用者は必ずお読み下さい。

B.内容物

製品及び付属品、内容物全てを記してあります。取り付け作業前に必ずお読み下さい。

C.取り付け説明

製品の取り付けに関して記してあります。取り付け作業をされる方は必ずお読み下さい。

D.注意事項

製品及び取扱説明書の内容についての注意を記してあります。取り付け車両の使用者、取り付けされる方は必ずお読み下さい。

A.使用目的・概要

- ・ BMW M3(F80)DCT・M4(F82)DCT の純正ステアリングスイッチ及びパドルシフトレバーを弊社ステアリングボスに移設し、スポーツステアリングに変更する為の製品です。この目的以外で使用しないで下さい。
- ・ レーンデパーチャー機能は使用できなくなります。
- ・ 日本国内正規販売の右ハンドル車専用になります。並行輸入車及び左ハンドル車は取り付け未確認になります。
- ・ 対応ステアリングスイッチ形状以外の車両には装着できません。
- ・ 他社製品及び弊社製品の模造品への取り付けはできません。
- ・ 本製品は直径 350mm 全高 40mm の MOMO 社製又は NARDI 社製の 3 本スポークステアリングホイールを使用して設計されています。直径 350mm 以下のスポーツタイプステアリングホイールや全高が過多、過小なステアリング、3 本スポーク以外、MOMO もしくは NARDI の PCD 以外のステアリングでは使用状況を検証しておりません。
- ・ 純正部品の取外し方は抜粋して記載しております。詳しくは車両メーカーもしくはディーラーにお尋ね下さい。
- ・ 本説明書は 2015 年式の車両で制作しています。年式やグレードで説明と異なる項目や写真がある場合があります。ご了承ください。

B.内容物



ボス本体



パドルシフトマウント



スイッチマウント



カバー



エアバックキャンセラー



低頭ボルト M6x10
(ボス本体に組込済)



低頭ボルト M6x12



十ナベ頭 M3x8
(ボス本体に組込済)



ホーンリング
(ボス本体に組込済)



ステアリング取付ボルト

C.取付け説明

注:ステアリングを直進状態で停車し、バッテリー端子を外し 15 分程経過してから作業を行って下さい。

バッテリー端子を外す事で生じる再設定方法は、事前に自動車メーカーにお問い合わせください。

1, 純正ステアリング側面左右にある穴(図○)からスプリングを押してエアバックモジュールのロックを解除し、スパイラルケーブルからカプラーを外してエアバックモジュールを外します。



2, スパイラルケーブルに接続されているカプラーを外し、センターボルトを外して純正ステアリングを外します。
ベゼル裏側 6 時方向(図○)のタッピングスクリュー(ブラック)と表側 3 時及び 9 時方向(図○)にあるタッピングスクリュー(シルバー)2 本を外しベゼルを外します。



3, 純正ステアリングから各配線、ステアリングスイッチ、パドルシフトレバーを外します。

注、この際パドルシフトのカプラーは左右共通なので後で組み合わせが分かるようマーキングをしてください。

※純正タッピングスクリュー(シルバー)4 本及び、レーンデパーチャーバイブレーションジェネレーターのユニットは使用しません。

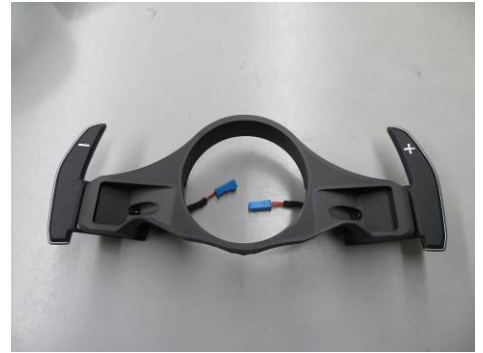
4, スイッチマウントに純正スイッチを配置し裏側から純正タッピングスクリュー(ブラック)で取り付けします。右側は後で外すのでタッピングスクリューは仮止めておいてください。

※相手が樹脂なので締めすぎに注意してください。



5, パドルシフトマウントにパドルシフトレバーを配置し純正タッピングスクリュー（ブラック）で取り付けします。

※相手が樹脂なので締めすぎに注意してください。



6, 付属低頭ボルト M6x12 を使用してスイッチマウントをボスに取り付けします。
(図○)

締付トルク 2.0～2.5N・m(0.2～0.25kgf・m)

※締めすぎに注意してください！締めすぎると樹脂が潰れて破損します。



ボス本体に組込済み低頭ボルト M6x10 3本は規定トルクで締め付けてあります。
外した際は規定締付トルクで締め付けてください。

締付トルク 5.2～7.2N・m(0.5～0.7kgf・m)

7, 仮止めしてある右側ステアリングスイッチを一度外し、純正配線のカプラーをボス側面にある楕円穴を使用しボス内側から外に通しステアリングスイッチと接続します。

カプラー接続後ステアリングスイッチを純正タッピングスクリュー（ブラック）でスイッチマウントに本取り付けします。

※相手が樹脂なので締めすぎに注意してください。



8, ボスカバーを被せます。



9, パドルシフト左右のカプラーをボス側面の丸穴を使用しボス外側から内側へ通し純正カプラーと接続します。



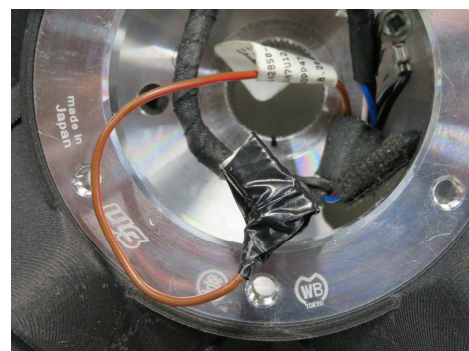
10, パドルシフトマウントをボスに被せます。配線を噛み込まないように配置してください。



11, 純正配線のアースをボス底面に付属+ナベ頭 M3x8 ネジを使用して取り付けします。(図○)



12, ホーン+平端子に絶縁テープを巻きます。



13, 付属エアバックキャンセラーをスパイラルケーブルに接続します。
左図のように配線が出ている方を左側にして取り付けます。



14, 純正配線をスパイラルケーブルと接続し、ボスをシャフトにトップ位置を合わせて差し込みます。配線類はボス内部に収めてください。



15, ステアリングを付属ボルト(又はステアリング付属のボルト)でボスに取り付け、センターナットを規定トルク 62N・m(6.2kgf・m)で締め付けます。

注、シャフトテーパー部及びセレーション部をパーツクリーナー等で脱脂してください。

※MOMO タイプのホーンボタンを取り付ける際は付属ホーンリングをボス内径にはめてからステアリングを取り付けしてください。

NARDI タイプのホーンボタンを取り付ける際はホーンリングは使用しません。



16, 純正ホーン配線とホーンボタンを接続しステアリングに取り付けます。



17, バッテリー端子を接続してください。

再設定がある場合はメーカー指定の手順で設定を行ってください。

※レーンデパーチャーボタンを押すとエラーが出ますが、エンジンを再始動すると自動的に消えます。

稀にエンジン始動時にオートクルーズ故障とエラーが出る場合がありますがすぐに自動復帰し、オートクルーズ機能は作動することを確認しています。

D.注意事項

- ・ 取り付け完了後、ステアリング操作をして異常が無いか確認して下さい。正しい配線の取回し等がなされず、車輻側のスパイラルケーブルを配線類で押していると、ステアリング操作が重くなることがあります。また、その状態で運転を続けると車輻部品が破損する恐れがあります。ご注意ください。
- ・ 車輻の運行前には取り付けした各部品が固定されていることを必ず確認して下さい。運転中に緩みが生じるとステアリング操作ができなくなり大変危険です。
- ・ 本製品を改造してご使用しないで下さい。
- ・ 取り外した純正ステアリングや部品は大切に保存しておいて下さい。なんらかの事由により、純正状態に戻す際に必要になります。弊社ではその責任を負えません。
- ・ 弊社製品は慎重に検査し不具合がないことを確認してから出荷しておりますが、万が一品質に問題がある場合は弊社までお問い合わせ下さい。このとき製品を一度弊社までお送り頂く場合が有り得ます。上記純正部品が必要になりますし、ご自分で作業されない方は工賃が発生することが想定できますが、弊社ではこの純正部品、工賃等は一切保証致しかねますので何卒ご了承下さい。
- ・ 本書は本製品と共に保管してください。

株式会社ワークスベル

〒391-0011 長野県茅野市玉川 8507

問合せ先: ワークスベル・カスタマーセンター

TEL: 0266-70-1477 (平日 10:00~18:00)

E mail: support@worksbell.co.jp